

『コイコワレ』 乾 ルカ 著 中央公論新社 (分類:Fイ)

太平洋戦争末期、東京から東北へ集団疎開してきた小学生たち。青い目を持つ少女・清子と、捨て子で疎開先の寺の養女・リツはお互いを嫌悪するが…。競作企画「螺旋プロジェクト」の昭和前期編。『小説BOC』連載を単行本化。



『むらさきのスカートの女』 今村 夏子 著 朝日新聞出版 (分類:Fイ)

近所に住む「むらさきのスカートの女」が気になる<わたし>。自分と同じ職場で働くよう彼女を誘導し、その生活を観察し続け…。狂気と紙一重の滑稽さ。<わたし>が望むものとは? 『小説トリッパー』掲載を単行本化。



『とむらい屋颯太』 梶 よう子 著 徳間書店 (分類:Fカ)

吉原に売られてきて3年。骨と皮ばかりの痩せこけた妓の亡骸に死化粧を施してやりながら、颯太は「楽しいことはあったか」と話しかけ…。死者の想いを掬い取り、あの世へ送り出す弔いの物語。『読楽』掲載を加筆し単行本化。



『119』 長岡 弘樹 著 文藝春秋 (分類:Fナ)

消防士は川原で石を拾っていた女性と交際を始めたが…。「教場」「傍聞き」などの短編ミステリの名手が、消防署を舞台に描く9つの連作短編。『オール讀物』掲載を単行本化。



『キャバレー』 ビートたけし 著 文藝春秋 (分類:Fビ)

駆け出し芸人・綾小路きみまろは、酔っ払い相手の漫談から、いつか売れる日を夢見るが…。70年代に花開いたキャバレーを舞台に綴る、笑いと哀愁とノスタルジー溢れる長編小説。『オール讀物』掲載を単行本化。



『おしゃべり時計の秘密』 フランク・グルーバー 著 論創社 (分類:933 グ)

怪しげな肉体改造本の販売を生業とするジョニーとサム。殺しの容疑をかけられ、刑務所に放り込まれてしまい…。災難続きの2人の運命やいかに?おしゃべり時計をめぐる謎に迷探偵が挑む!



『1793』 ニクラス・ナット・オ・ダーグ 著 小学館 (分類:949 ナ)

1793年秋。貧しく汚く腐敗したストックホルムの湖で、惨殺死体が見つかった。戦場帰りの荒くれ者と結核に冒されたインテリ法律家が、殺人事件の謎を追う…。スリリングで濃密な、スウェーデン発大型歴史ミステリー。



『みるみるつながる仏像図鑑』

三宅 久雄 監修 誠文堂新光社 (分類:186 ミ)

“つながり”で見る仏像図鑑。古代から近代にいたる多種多様な仏像とその背景を、紹介される機会の少ない室町・安土桃山・江戸時代の仏像にもスポットをあて、多数のイラストとともに解説する。



『「文藝春秋」にみる平成史』 半藤 一利 監修 文藝春秋 (分類:210.77 ブ)

小淵恵三「天皇崩御 緊迫の官邸」、井上ひさし「ワープロは日本語を変えたか」、村上春樹「僕はなぜエルサレムに行ったのか」…。平成を読み解き、次の時代へのヒントとなる『文藝春秋』の記事を31本収録。



『世界にバカは4人いる 他人を平気で困らせる人々と付き合う方法』

トーマス・エリクソン 著 フォレスト出版 (分類:361 エ)

バカなヤツらの言動に、どう対処すればいいのか?人のさまざまな行動様式を描く「DiSCモデル」を基盤に、人間同士のコミュニケーションを円滑にするための方法を紹介。ビジネス・コミュニケーションの実例も掲載する。



『安楽死を遂げた日本人』 宮下 洋一 著 小学館 (分類:490 ミ)

スイスでの安楽死を希望する難病の女性。それを実現するにはハードルが高かったが、彼女の思いは海を越え、人々を動かしていった…。安楽死を求める人々と関係者を取材したルポルタージュ。「安楽死を遂げるまで」の続編。



『おくすり晩酌』 大友 育美 著 ワニブックス (分類:596 オ)

「おくすり」のように、心と体をいたわってくれる晩酌で、明日へのエネルギーをチャージ! 薬膳の知識を取り入れた、お酒とおつまみのレシピを「疲れ」「肩こり」「ダイエット」などのお悩み別に紹介します。



『原田マハの印象派物語』 原田 マハ 著 新潮社 (分類:723.05 ハ)

モネ、ドガ、ルノワール、ゴッホ…。貧困、世評、病と闘いながら新しい道を切り拓いていった印象派の画家たちの物語を、作品とともに紹介する。『芸術新潮』2018年6月号特集を再編集し、高橋明也との対談を追加。



『ことばのトリセツ』 黒川 伊保子 著 集英社インターナショナル(分類:810 ク)

ことばを介して心で起こる気持ちは、発音時の口の中での感覚に起因する。28年に及ぶ「語感分析」の成果に基づいて、男女関係、職場の上下関係、ネーミングなど、あらゆる場で役に立つ「ことばづかい」の極意を紹介する。



『寂聴先生、ありがとう。秘書の私が先生のそばで学んだこと、感じたこと』

瀬尾 まなほ 著 朝日新聞出版 (分類:910 セ)

忘れられない先生の一言、先生からの最高の贈り物…。作家・瀬戸内寂聴と過ごして8年、秘書としての仕事、初著書を出してからの変化や不安、自分の恋愛観、学んだこと、感じたことを、感謝の想いととともに綴る。



新しく入った 児童図書・YA  
(6/23) 予約受付いたします！

『なっちゃんとなつ』

伊藤 比呂美 文／片山 健 絵 福音館書店 (分類:Eカ)  
なっちゃんがひとりで川原にでかけてみると、今は夏のまっさかり。草が生い茂り、花が咲き、虫たちがうようよしています。夕立におそわれ、家に帰ると、おばあさんからお墓参りにいこうと誘われ…。日本の夏を描いた絵本。  
(幼児～)



『めがねこのぼうけん』 柴田 ケイコ 作 手紙社 (分類:Eシ)

毎日いろんなお客さんにあつためがねを作っている、めがねこ。ある日、めがねこが6歩、歩いたくらいの大さのめがねを作ってほしいという手紙が届きます。お手伝いのねずみといっしょに、一晩かけて大きなめがねを作り…。(幼児～)



『あついあつい』 垂石 眞子 さく 福音館書店 (分類:Eタ)

暑い日照りの中、涼しい所を探してペンギンがやってきました。やっとつけた日かげでひと休み。ところが、それはアザラシのおかげ。「ぼくだって暑いんだよ」というアザラシといっしょに、涼しいところを探しにいくと…。  
(幼児～)



『火星のカレー』 斉藤 洋 作 講談社 (分類:913 サ)

わたしはカレー人です。あ、ちがった。火星人です。火星にはむかし、海がありました。火星に水がなくなったのは、地球人がカレーを火星に持ち込んだからで…。斉藤洋と高島純が描く、宇宙人たちのひみつの物語。(小学校低学年～)



『化石ハンター』 小林 快次 作 PHP 研究所 (分類:457 コ)

世界トップクラスの恐竜研究者は、恐竜少年ではなかった!?恐竜より好きだったもの、嫌いだった勉強が楽しくなった理由、2億年ぶりの出会い…。恐竜学者となった著者が、これまでの人生と恐竜が教えてくれたことを伝える。(中学生～)

